

CHUOH TRY+ANGLE

知っ得通信

2021年2月19日発行 編集・発行:中央教育研究所(株) 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-6 <http://www.chuoh-kyouiku.co.jp>



中土井鉄信の「地域一番の繁盛塾になるための最強法則」 vol.108

<自己規定を明確にしているか>

読者の皆さんは、自分自身をどう規定していますか。こう書くと、「???」と思われる方もいるかもしれませんが、自分自身のあり方がこれから先、非常に重要になります。何をどうやるかという問題意識よりも、何をやるか。どういう想いでそれをやるか。どういう人間が、それをやるのか。ここが問われるのが、これから先の世界です。

特に、教育のフィールドで仕事をする私たちは、自分のあり方をどう規定して、日々を暮らしていくかが問われます。例えば、他人と言葉を交わす時、何を意識して会話をするかということです。これは、学習塾という空間でも同じです。生徒や保護者と話す時、何を意識して話をするかということです。そして、その意識する先は、話した後の効果についてです。つまり、自分は、相手と話した時、相手が、どうなっていることが目的なのか、このことを意識して話をするということです。

議論が抽象的になってしまうので、私を例にして議論をしてみます。

私が、コミュニケーションを他人と取る時の自己規定は、相手のセルフ・エスティームを高める人間であるということです。もっと簡単に言うと、私と話した後、相手が元気になっているということを目的に相手と対峙します。私と話をすると相手は元気になる、そういう人間が、私なのだとして自己定義しているのです。

ですから、コンサルの席上、相手を叱ることもありますが（というか、よく叱りますが）、最終的には、このコンサルが終わった後には、相手は元気になって、やる気になって明日を迎えるようになっていくというのが、私の理想とするところなのです。

このように、自分の行動の結果を明確に意識しながら行動すると、それが、大きな付加価値になる場合があります。他の方にはない何か（＝付加価値）が生まれて、私と会いたいと相手が思ってくれるからです。

学習塾は、そういう付加価値を、コミュニケーショ

ンを通じて創造していく仕事です。ですから、まず、学習塾で働く講師や職員の自己規定を明確にしておくことです。例えば、「生徒とコミュニケーションを取る私たちは、生徒が元気になることが目的です。」と言うような規定を作ってみてください。以下、こんな感じで規定集を作ってみるのはどうでしょうか。

- 「私たちの挨拶は、お互いを元気にするエールの交換だ。」
- 「私たちの声掛けは、相手を笑いに満ちたものにする。」
- 「私たちの授業は、生徒にその教科を好きになってもらうプレゼンテーションだ。」
- 「私たちの仕事は、生徒と保護者をより良い関係にする橋渡しだ。」
- 「私たちの仕事は、生徒の心に火を点けるエンターテインメントだ。」

などなど。

色々な規定を明確にし、その基準で、日々の行動を評価していくのです。ただ単に、教科を教えるだけ、ただ単に、学校の成績を上げるだけ、と言う無味乾燥的な仕事から脱することこそ、これから先の勝利の方程式になるはずなのです。

そういう規定が明確になっていけば、塾全体の自己規定も明確化するはずだ。そうなれば、一定のファンが必ずついてきて、良い口コミを発生させてくれることとなります。子どものマインドをしつかり意識して、色々な自己規定を創って、塾のカラーを鮮明にしていきたいでしょう。

【編集後記】

◆ MBA 塾経営革新メンバー入会受付中◆

お得なビギナー会員登録！月額 3,000 円（税別）～
全国の塾長と情報交換しませんか？

マネジメント・ブレイン・アソシエイツでは、「MBA 塾経営革新メンバー制度」を通して、全国の塾長・教室長の先生方へ、塾経営・教室運営に関する最新の情報や、MBA のノウハウのご提供と、会員の皆様同士の情報交換の場を提供しております。

↓「MBA 塾経営革新メンバー」の詳細はこちら↓

https://management-brain.com/members_join/

数字でみる学習塾経営・業界のトレンド vol.72

2月に入り、政府の年次統計の発表が始まっています。今回はその中から、われわれ学習塾業界にもかわり深い「家計消費状況調査」（総務省）をご紹介します。

同調査には「補習教育費」という項目があります。全国の各家庭が毎月支出した「学校の主要科目の補習としての学習塾、予備校、通信添削、家庭教師、模擬テスト代などにかかる費用」を調べたものです。今回はこの補習教育費を①「全国の2人以上の世帯」の、②「世帯主の年齢が30歳～39歳」と「40歳～49歳」の世帯に絞って眺めてみることにします。少々おざっぱですが、世帯主年齢が30代の場合は幼児・小学生の子どもを持つ世帯、40代の場合は中学生・高校生の子どもの世帯と捉えていただければ結構です。

ただし、同調査の母集団には同居する子どもがいない世帯も含まれています。その点に留意しながらご覧願えればと思います。

【2020年の補助教育費】

	世帯主 30代 (前年同月比)	世帯主 40代 (前年同月比)
1月	3,931円 (104.9%)	11,431円 (96.8%)
2月	3,656円 (101.6%)	9,196円 (88.4%)
3月	3,903円 (72.0%)	10,404円 (76.2%)
4月	3,881円 (92.3%)	10,743円 (85.2%)
5月	2,597円 (71.4%)	8,204円 (84.2%)
6月	3,073円 (82.3%)	8,767円 (86.6%)
7月	4,517円 (91.0%)	12,074円 (92.3%)
8月	4,478円 (134.0%)	11,426円 (96.3%)
9月	3,835円 (121.0%)	11,491円 (105.4%)
10月	3,821円 (136.2%)	11,108円 (114.2%)
11月	3,794円 (107.2%)	11,517円 (113.5%)
12月	4,265円 (94.6%)	14,056円 (104.8%)

20年は言うまでもなく新型コロナに翻弄された1年でした。

ちょっと思い出してほしいのですが、中国政府が武漢の都市封鎖を行ったのは1月23日でした。邦人を乗せた武漢からのチャーター機の第1便が到着したのが1月29日で、ダイヤモンド・プリンセス号が横浜港に帰港したのは2月3日。このころはまだコロナも文字通り対岸の火事でした。

が、2月27日夜、当時の安倍首相が突然、3月2日（月）からの学校の「全国一斉臨時休校」を要請すると局面が一気に変わります。

局面の変化が補助教育費支出にも端的に現れています。1月、2月にはそれぞれ前年同月比4.9%増、1.6%増だった30代世帯の補助教育費は、3月には28.0%減まで落ち込みます。

40代世帯も同様です。金額の大きいこちらは消費税増税の影響もあったのか、1月、2月とも前年同月比マイナスだったのですが、その幅がやはり一気に拡大して3月は23.8%も減ってしまいました。

以下、簡単にコロナ関連の時系列を追っておきましょう。

日付	関連する出来事
3月2日	全国一斉臨時休校 (春休みまで/経産省から塾にも休業要請)
3月29日	喜劇役者の志村けんさん、コロナで死去
4月7日	東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡に緊急事態宣言発令 (学校の休校を要請/地域によっては中・大規模の塾舎を持つ塾に対して間接的に休業の協力要請)
4月16日	緊急事態宣言を全国に拡大
5月14日	東京、埼玉、千葉、神奈川、大阪、京都、兵庫、北海道を除く39県の宣言解除
5月21日	大阪、京都、兵庫の宣言解除
5月25日	宣言の全面解除
7月29日	1日当たりの全国の陽性者発表数、初めて1,000人を超える(第2波襲来)
8月7日	第2波のピーク
11月18日	1日当たりの全国の陽性者発表数、初めて2,000人を超える(第3波襲来)

数字でみる学習塾経営・業界のトレンド vol.72

影響がもっとも大きかったのは30代世帯の場合3月(28.0%減)と5月(28.6%減)、40代世帯は3月(23.8%減)でした。

ようやく回復気配がみられたのはともに、緊急事態宣言が明けて1か月以上経った7月(30代世帯9.0%減、40代世帯7.7%減)。このころになると子どもは感染しにくい、しても重症化しないという話が伝わり始めましたので、安心感が生まれたのでしょう。さらに、地域によっては3か月に及んだ学校休校がもたらした学力の遅れも問題になり始めました。

本格的な回復は30代世帯の方が早かったようで、8月には前年同月比が34.0%増まで伸びています。この前後、塾専教材の出版社や低学年専門塾からよく、どういうわけか幼児・低学年の集まりがよいとの話が聞こえてきましたが、数字的にもそうなっています。

40代世帯の回復は秋になってからでした。9月は5.4%増、10月は14.2%増、11月は13.5%増、12月は4.8%増を記録しています。

ご覧のように20年は、30代世帯で前年同月比が最低28.6%減、最高36.2%増、40代世帯で最低23.8%減、最高14.2%増というジェットコースターのような1年でしたが、年間を通してみますと、30代世帯は前年比2.0%減、40代世帯は5.1%減に収まっています。

とはいえ、これは塾業界全体としてはということであって、個々の事業者についてはずいぶん凸凹があると聞いています。

凸だった事業者はともかく、凹だった事業者にいま必要なのはこの春の募集の頑張りでしょう。

この1月に発令された2回目の緊急事態宣言の影響もあって早晩、不況の波が押し寄せてくることは間違いありません。

生き残れるかどうかはいま、どれだけ頑張れるかにかかっています。できることはなんでもやる強い意志を持って、頑張り抜いてください!

PS・コンサルティング・システム

小林 弘典

新年度に向け、主な中学生用テキストの情報を大公開

 CHUOH PRESENTS

教材.info
開設のご案内

中学生改訂版紹介動画

2021年度は新学習指導要領の全面实施に伴い、中学校教科書が改訂となります。あわせて、学習塾専用テキストも、中学生用の多くが改訂となります。そこで当社取り扱いテキストの改訂内容等の最新情報について、いつでもご覧いただける専用サイトを開設しました。

教材.infoへのアクセスは下記URL、またはQRコードから
<http://kyouzai.info>

当社運営のCHUOH ネットショップからもアクセスできます。
(<https://www.shop-chuoh.com>)

解説動画は、英語・数学・国語・理科・社会の教科別。それぞれ教科書準拠版・標準版をご用意した全10本を公開中!

